

資料2

科学技術・学術審議会産業連携・地域支援部会
第10期地域科学技術イノベーション推進委員会
(第2回)
R2.3.16

浜松市における地域科学技術イノベーション

第10期地域科学技術イノベーション推進委員会(第2回)

令和2年3月16日

浜松市産業振興課 課長 村上広幸

《浜松市の概要》

■人口

802,527人（全国16位）

■総面積

1,558.06km²（全国2位）

■歴史

輸送用機器・楽器・繊維を
基幹産業とする、ものづく
りのまちとして発展

■地勢

四方を海・山、川、湖に
囲まれ、都市と自然が共存



《浜松市の概要》

「やрмаいか精神」に溢れるベンチャー企業のまち
だった・・・



YAMAHA KAWAI

TOYOTA

SUZUKI

HONDA

YAMAHA

HAMAMATSU



山葉 寅楠



河合 小市



豊田 佐吉



鈴木 道雄



本田 宗一郎



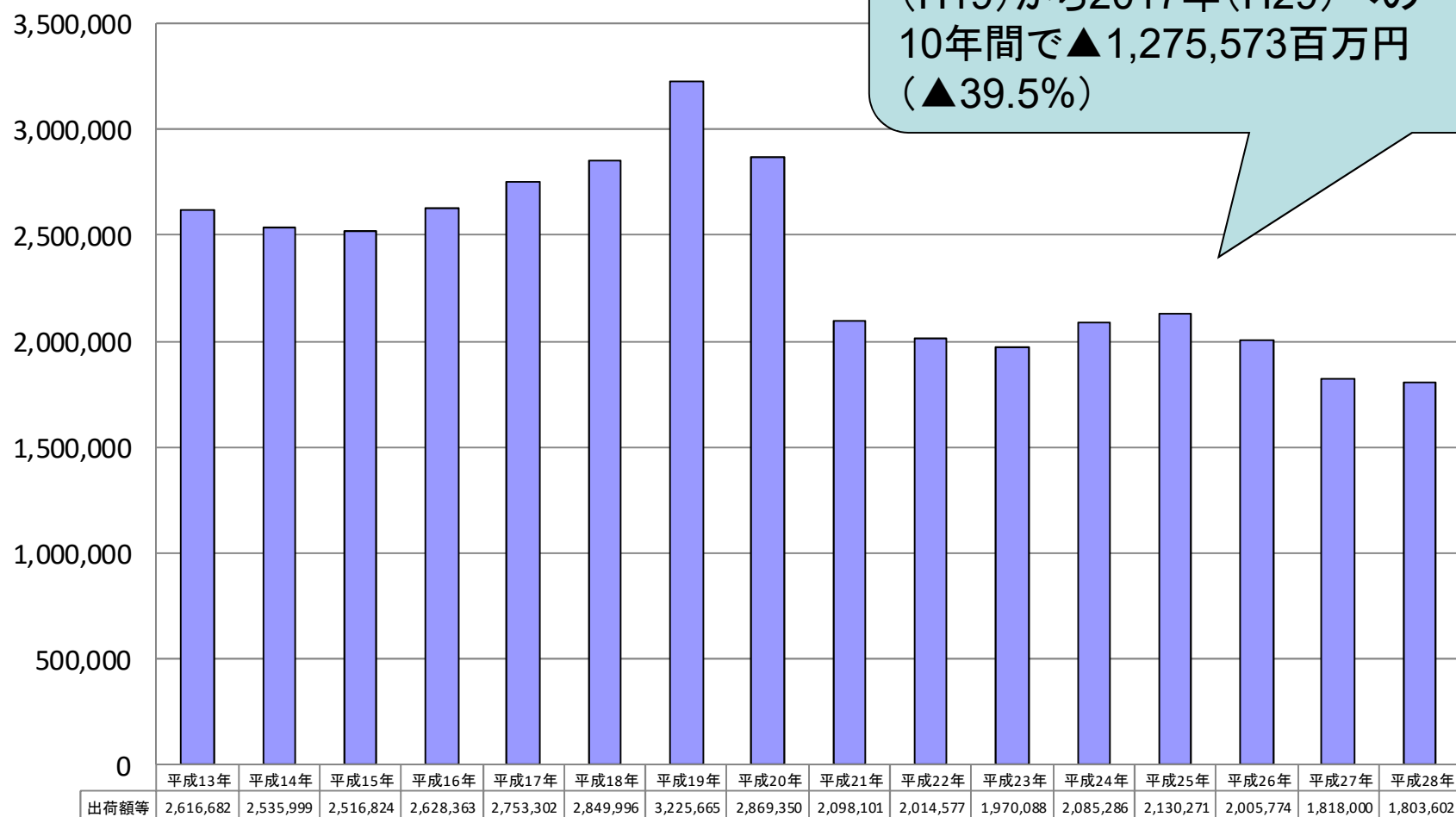
川上 源一



高柳 健次郎

《浜松市の課題》

■浜松市の製造品出荷額



単位：百万円

資料： 工業統計調査

従業者4人以上の事業所 4

《浜松市の課題》

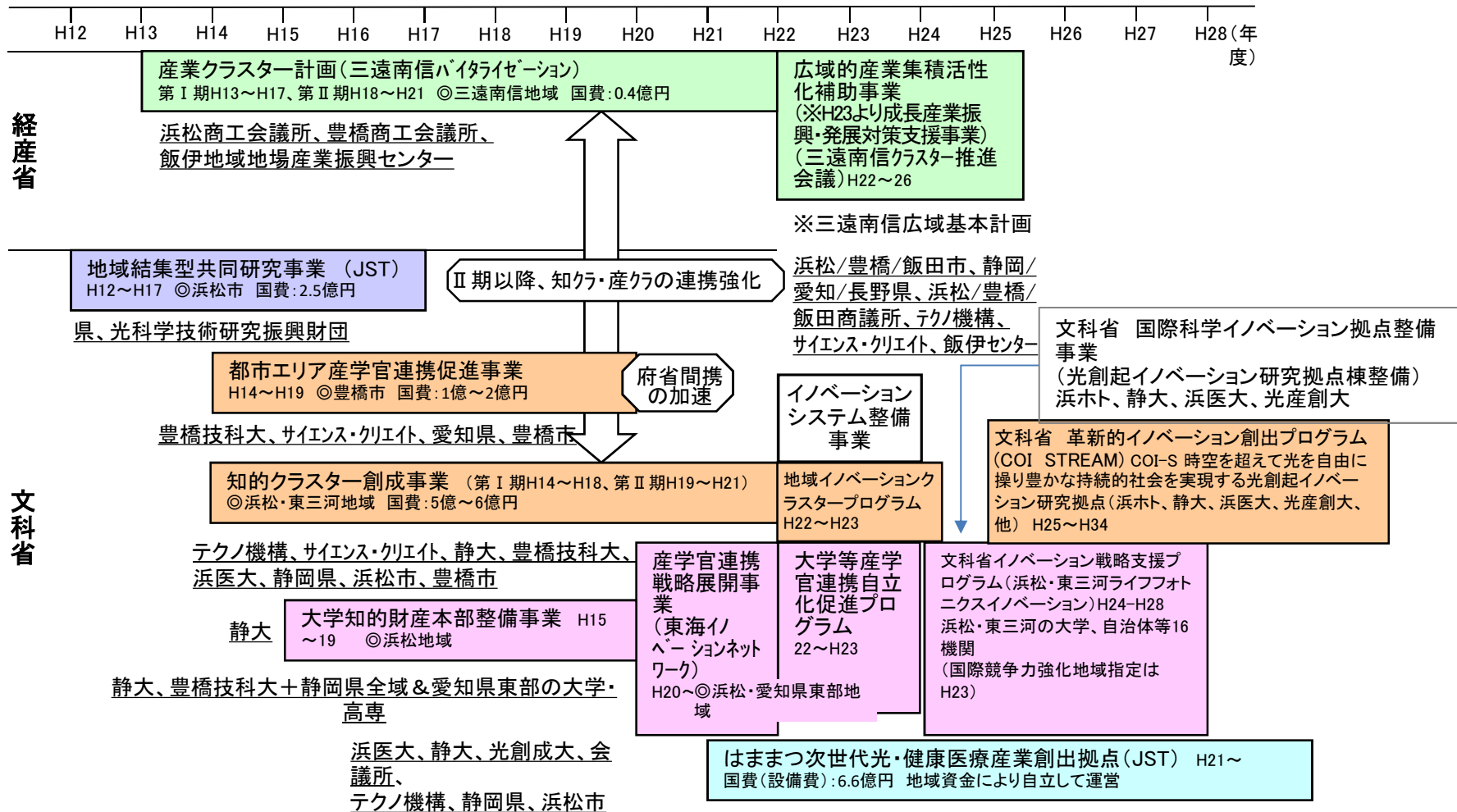
■浜松市の製造品出荷額 上位12分類



中分類	製造品出荷額等（万円）	割合 （全分類に占める％）
輸送用機械器具製造業	80,408,815	41.2
生産用機械器具製造業	19,007,517	9.7
電子部品・デバイス・電子回路製造業	14,598,622	7.5
プラスチック製品製造業	13,326,423	6.8
電気機械器具製造業	11,139,016	5.7
金属製品製造業	9,223,073	4.7
食料品製造業	8,621,790	4.4
その他の製造業	6,781,116	3.5
鉄鋼業	4,542,246	2.3
情報通信機械器具製造業	3,408,526	1.7
業務用機械器具製造業	3,137,242	1.6
木材・木製品製造業	2,838,771	1.5

資料： H30工業統計調査（H29データ）従業員4人以上の事業所

浜松地域における科学技術・産業振興プロジェクト (経済産業省、文部科学省)

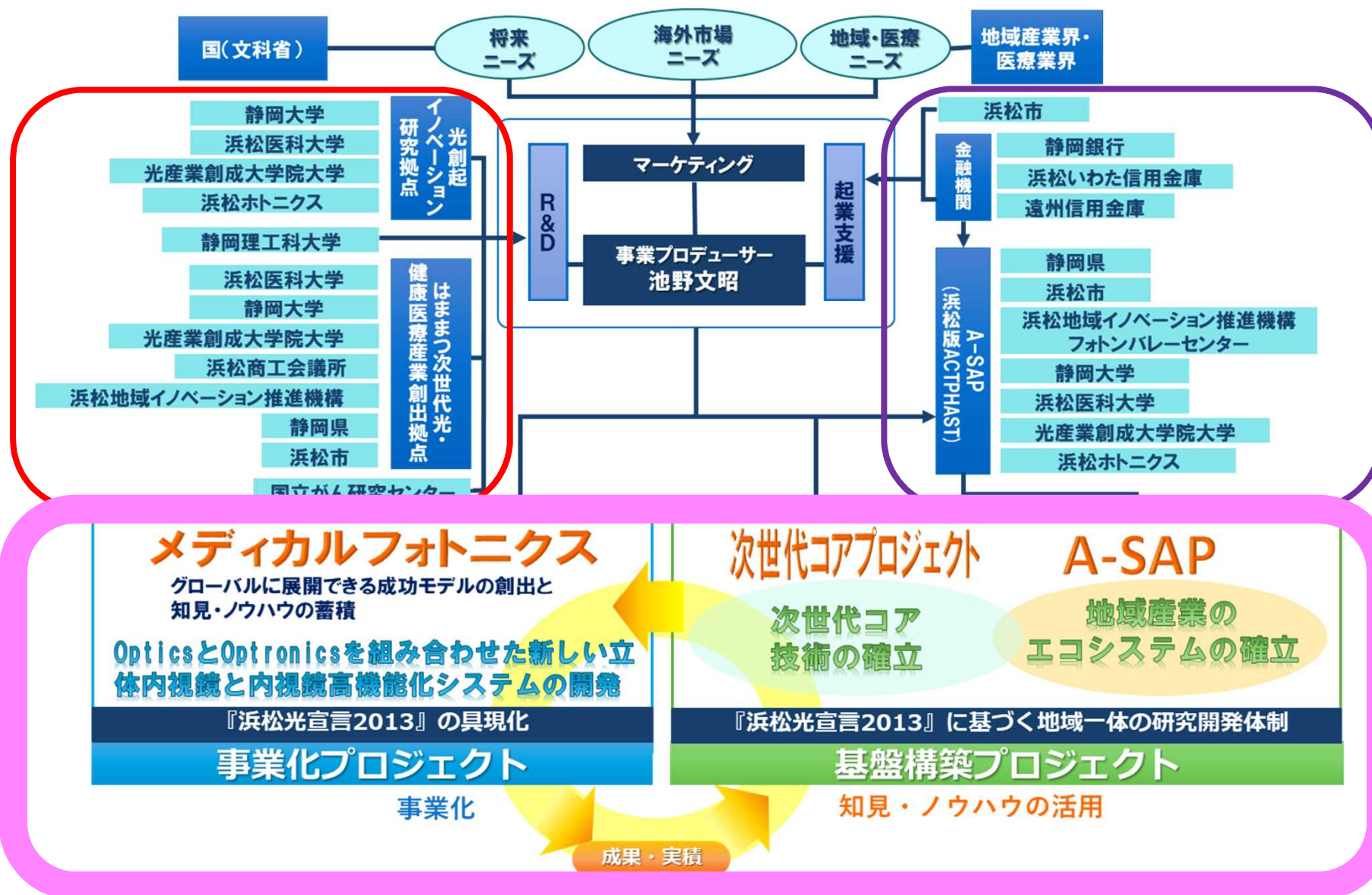


地域が作る「生態系」とそこで育ち世界に羽ばたく「開発プロジェクト」



PJ:事業化プロジェクト / CJ:次世代コアプロジェクト

《浜松地域 事業体制》



＜地域イノベーション・エコシステムの各会議体の事業体制＞

会議体名		役割	構成機関	国費補助
経営会議	構成員	事業経営に係る意思決定(事業プロデューサー)	大学 行政 産業支援機関	事業プロデューサー(謝金)
	アドバイザー	・研究計画、マーケティング計画及び基盤構築活動の承認 ・各プロジェクトの業務及び予算執行状況の進捗 ・次年度予算案の策定・決定／追加予算案の策定・決定 ・地域行政との連携 ・事業評価 ・広報戦略	大学 企業 行政	ビジネスプロデューサー(謝金)
研究開発分科会		・研究者、開発担当者間の情報・意見交換 ・各プロジェクトの研究開発(研究開発MAP)の策定 ・事業化可能なプロトタイプとPOCの提示	大学 関係企業の研究者	
基盤構築分科会		・地域の成長戦略の基盤となる「A-SAP」の構築の推進 ・地域課題の抽出、解析、事業化への提案 ・中核企業の支援	大学 行政 産業支援機関 金融機関	
マーケティング分科会		・市場及び知財権等の調査・分析 ・国内外のマーケティング戦略(事業化MAP)の策定 ・マーケティング活動 ・知財の権利化・マネジメント	産業支援機関 大学 金融機関	マーケティング分科会長
リエゾン		・ロードマップの管理・進捗支援 ・経営会議と各プロジェクトのつなぎ役 ・各プロジェクトの横の連絡	大学 産業支援機関	
事務局			大学	常勤(3名) 非常勤(1名)

※補助事業者は大学及び産業支援機関

《事業プロデュース活動》

事業化・製品化に向けて

事業化プロジェクト



- 海外展開も視野に入れた開発製品の上市に向けての支援

次世代コア技術の確立

次世代コアプロジェクト



- 事業化に向けての研究開発支援

事業プロデュースチーム

- 開発・運営会議(経営会議)の実施
- 広報・周知のための全体会議の実施

アウトソーシング

知財戦略



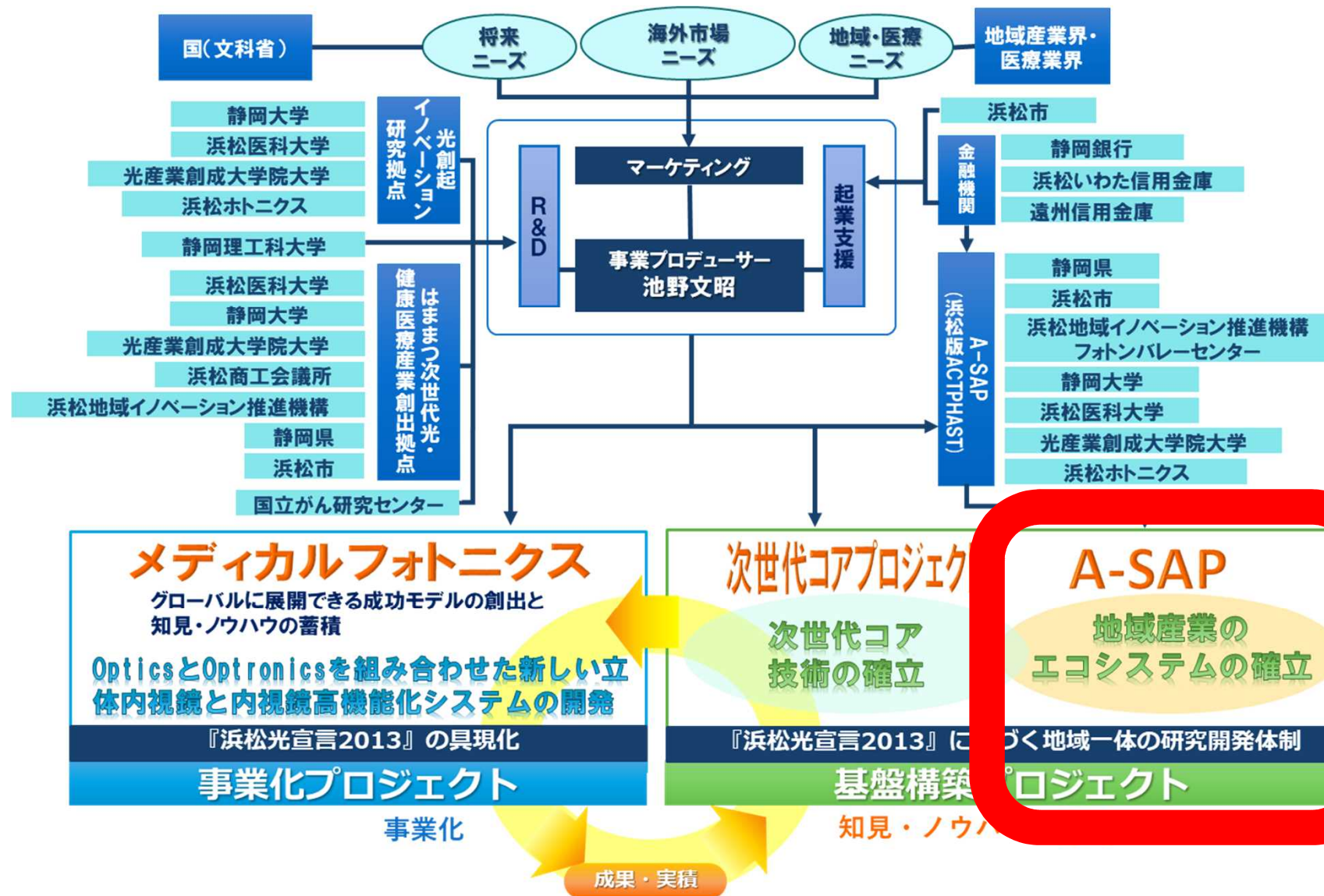
特許業務法人
太陽国際特許事務所®
TAIYO, NAKAJIMA & KATO

海外展開



アイ・シー・エイチジャパン

《浜松地域 事業体制》



《基盤構築プロジェクトのゴール》

次世代コア技術の確立と 地域産業のエコシステムの確立を目指す！

欧州連合のACTPHASTを参考に、浜松地域の成長戦略の基盤となるエコシステム A-SAP(浜松版ACTPHAST)の構築を推進する。

コアコンピタンス

浜松を『光の先端都市』に！
～ 浜松光宣言2013 ～



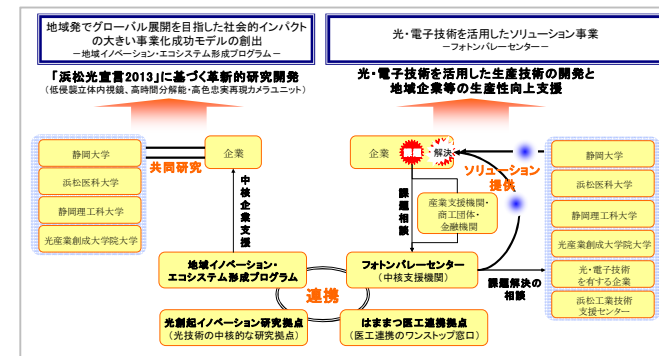
2013年6月11日、
国立大学法人 静岡大学
国立大学法人 浜松医科大学
学校法人 光産業創成大学院大学
浜松ホトニクス株式会社は、
浜松を光の先端都市にするための
浜松光宣言に調印しました。

浜松市基本構想

～ 光・電子技術による新たな産業の創成 ～



革新的研究開発と地域企業の生産
技術の開発・生産性向上支援



《基盤構築プロジェクト／事業プロデュース活動》

地域産業の エコシステムの確立

地域の成長戦略の基盤となる

A-SAPの構築を推進する

A-SAP 産学官金連携 イノベーション推進事業

Access Center for Innovation Solutions,

Actions and Professionals

“最速で望む未来へ到達する
ための新たな仕組み”

- A-SAP構築の推進
- A-SAP継続実施のための支援
- 地域の大学を中心にした専門
家ネットワークの形成

事業プロデュースチーム

地域のエコシステム確立に向けての活動

地域資金(静岡県、浜松市)
により

2017年度から実施

2017年	トライアル事業 2プロジェクト(終了)
2018年	A-SAP 第1期 6プロジェクト(終了)
	第2期 5プロジェクト(実施中)
2019年	第3期 3プロジェクト(実施中)
	第4期 5月スタート予定
2020年	第5期 計画中

《浜松市が考えるイノベーションエコシステム》

浜松バレー構想

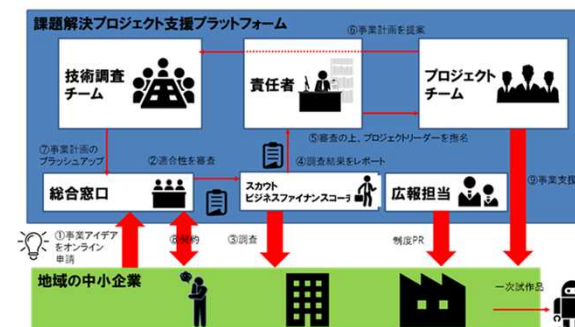
浜松市のベンチャー支援事業

ヒト	①浜松ベンチャー連合 ②IT人材育成獲得支援事業 ③ベンチャー経営塾
モノ	①はままつ起業家カフェ ②サテライトオフィス整備・運営 ※中山間地域トライアルオフィス整備・運営事業 ③はままつ首都圏ビジネス情報センター ④A-SAP
カネ	①新産業創出事業費補助金 ②都心オフィス進出支援事業費補助金 ③浜松イノベーションキューブ ④ファンドサポート事業 ⑤実証実験サポート事業 ⑥ものづくりコワーキングスペース整備事業費補助金
情報	①ベンチャー集積のための情報発信事業 ②ハッカソン開催 ③ベンチャー企業応援サイト「HAMACT!!」

新規は赤字

モノ④ A-SAP【浜松版ACTPHAST】(H29～)

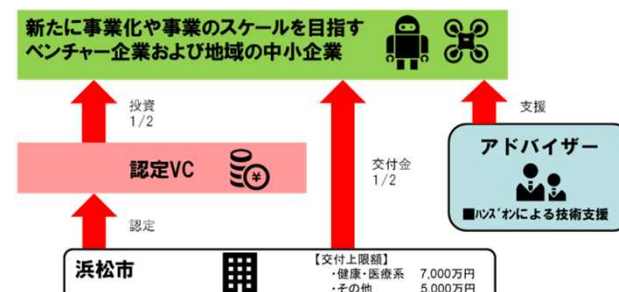
本市において、産学官連携による課題解決プロジェクト支援システムを構築し、地域企業の事業化・製品化を加速させる。



【ヒト】 【モノ】 【カネ】 【情報】 浜松市

カネ④ ファンドサポート事業（新規）

市内におけるベンチャー投資の活性化を通じ、市内ベンチャー企業にとってアクセス可能な資金調達手段を増やすため、ベンチャーキャピタル等が市内のベンチャー企業に投資しやすい環境整備を行う。

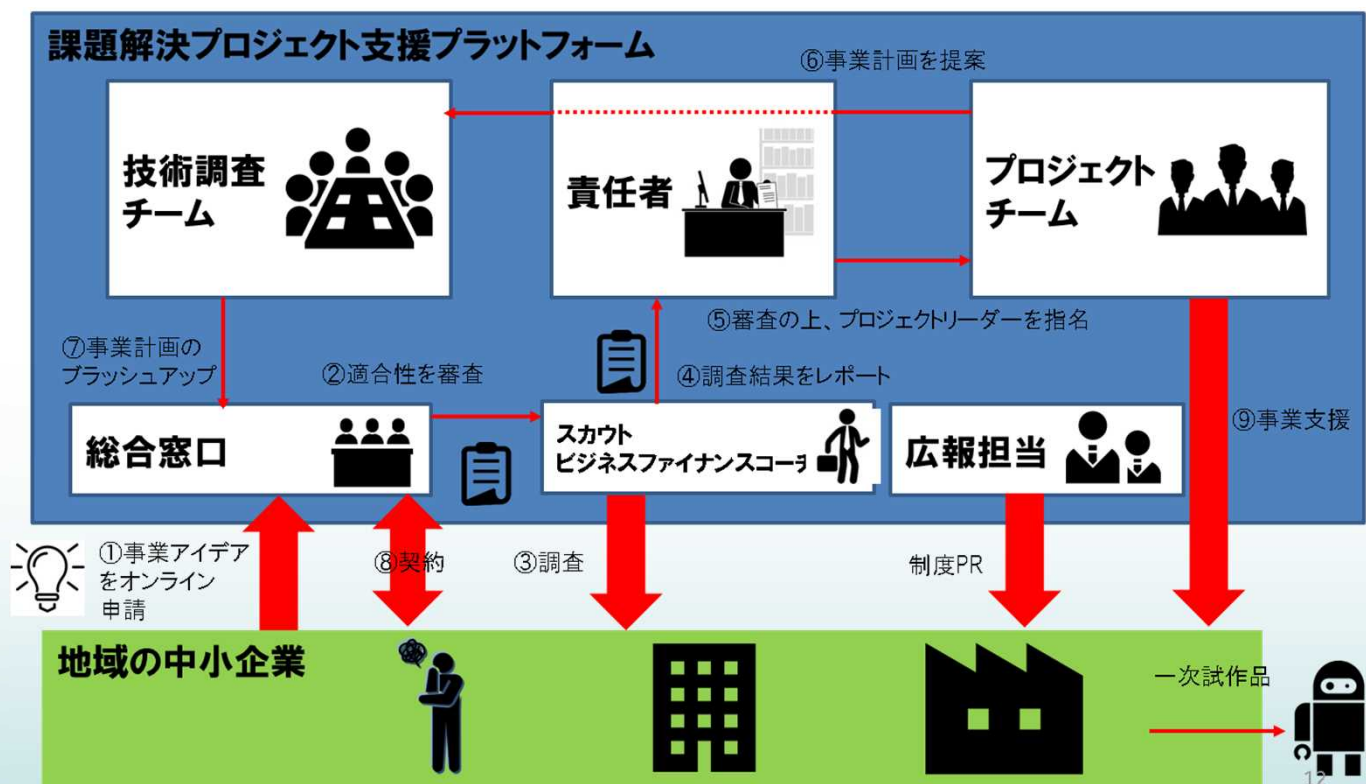


【ヒト】 【モノ】 【カネ】 【情報】 浜松市

モノ④

A-SAP【浜松版ACTPHAST】(H29～)

本市において、産学官連携による課題解決プロジェクト支援システムを構築し、地域企業の事業化・製品化を加速させる。



【ヒト】

【モノ】

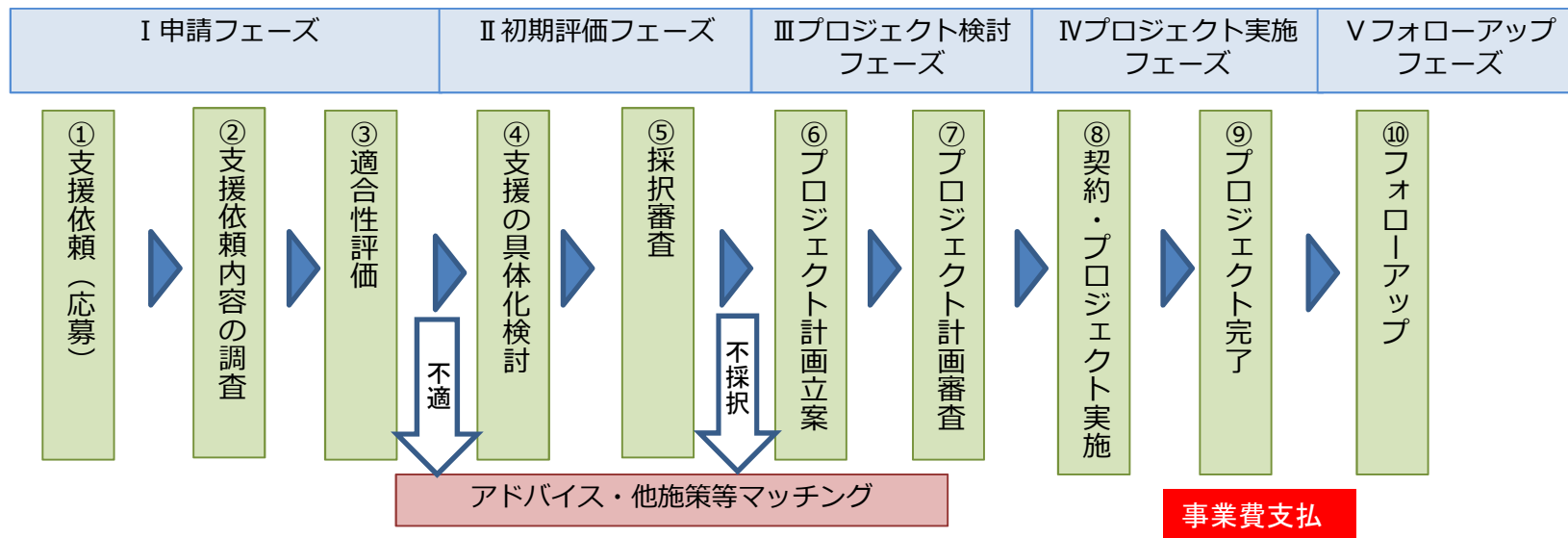
【カネ】

【情報】



浜松市

〔 A-SAP産学官金連携課題解決プロジェクト推進事業フロー 〕



支援の流れ	内容	関係者
①支援依頼(応募)	「A-SAPエントリーシート」により、アイデアや相談内容を簡潔に記載して応募	PVC
②支援依頼内容の調査	BC及びセンターの技術コーディネーターが企業訪問し支援依頼内容の詳細を調査	BC
③適合性評価	PVCが支援依頼内容についてA-SAPに適合するかどうか判断	BFC・スカウト
④支援の具体化検討	適合性ありと判断した場合、金融機関から派遣されたBFCと研究機関から派遣されたスカウトが詳細な調査を行い企業と共に事業面、技術面の課題を明確化	BFC・スカウト
⑤採択審査	BFC、スカウトの調査結果（事業の成長性、技術の適合性等）を審査し、支援対象案件を採択	BFC・スカウト
⑥プロジェクト計画立案	採択された場合、専門家の中から課題解決に適した人材がPLとして選任され、支援内容をスカウト及びBFC、企業と共に詳細に検討し、プロジェクト計画を作成。	BFC・スカウト・PL
⑦プロジェクト計画審査	プロジェクト計画の適否を審査し、不適正であれば修正を指示	BFC・スカウト・PL
⑧契約・プロジェクト実施	プロジェクト計画が承認されるとPLがプロジェクトチームを結成し、PL管理の下、企業と共同でプロジェクトを実施（センター、PL所属機関、企業で三者契約締結）。	PVC
⑨プロジェクト完了	6ヶ月程度のプロジェクト活動の後、企業はプロジェクトの成果を獲得	PL・BFC
⑩フォローアップ	プロジェクト終了後製品化までの間、必要に応じフォローアップを実施	PVC

〔 A-SAP 主な関係者 〕

名称	業務内容	資格	関係者 選任	費用
PVC (フォトン バレーセン ター)	・ 事業全体の運営	－	－	－
BC (Business Coaches)	・ エントリーシートが提出された後、企業を訪問し 補足調査を行う。 ・ 適合性評価会に参加し意見を述べる。	金融機関OB 中小企業診断士 等	PVC	謝金 (随時)
BFC (Business and Financial Coaches)	・ 適合性ありと審査された案件について詳細調査を 行いビジネス面の評価を行う。 ・ スカウトと協同してスカウトレポートを作成する。 ・ 採択審査にあたり意見を述べる。 ・ プロジェクト終了後も事業面・資金面での支援を 行う。	金融機関に所属し事業評価を 業務とする者 (静岡銀行、浜松いわた信用 金庫、遠州信用金庫)	支援依 頼企業	謝金 (随時)
スカウト	・ 適合性ありと評価された案件について詳細調査を 行い技術面の評価を行う。 ・ BFCと協同してスカウトレポートを作成する。 ・ 採択審査会において意見を述べる。	大学の産学連携コーディネー ター 等 (静大：産学官連携コーデ ィネータ ー 光大：教授 他)	PVC	謝金 (随時)
PL (Project Leader)	・ 採択審査会により採択された案件についてプロ ジェクトチームを結成してプロジェクト計画書を作 成し、審査を受ける。 ・ プロジェクトのマネジメントを行う。	大学教授、准教授等	スカウ ト、 PVC	事業費 (プロ ジェクト 完了後)

カネ④

ファンドサポート事業

市内におけるベンチャー投資の活性化を通じ、市内ベンチャー企業にとってアクセス可能な資金調達手段を増やすため、ベンチャーキャピタル等が市内のベンチャー企業に投資しやすい環境整備を行う。

新たに事業化や事業のスケールを目指す
ベンチャー企業および地域の中小企業



投資
1/2

認定VC



認定

浜松市



【交付上限額】

・健康・医療系 7,000万円
・その他 5,000万円

交付金
1/2

支援

アドバイザー



■ハズ'オンによる技術支援

【ヒト】

【モノ】

【カネ】

【情報】



浜松市

《期待する役割、サポート》

エコ・システム構築のための体制整備に対する支援

エコ・システムの確立には中核人材であるコーディネータの確保が重要であり、体制強化のための支援を引き続きお願いしたい。

大学研究テーマの産業シーズ化への支援

大学研究テーマの産業化には多くの時間とブラッシュアップが必要であり、大学への研究開発資金やアドバイス等の支援の強化をお願いしたい。

マッチングファンド型支援の継続

本市の産業政策の基本は中小企業支援であり、国の大学研究への支援との役割分担の中でマッチングファンド型の支援方式の継続をお願いしたい。

ご清聴ありがとうございました。

〒430-8652

静岡県浜松市中区元城町103-2

浜松市 産業部 産業振興課 TEL : 053-457-2317

E-mail : sangyo@city.hamamatsu.shizuoka.jp

浜松市ベンチャー企業進出・成長応援サイト「HAMACT」

<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/hamact/>

